

主な出来事

【内政】

- ガボン国民への個人識別番号の付与に関する閣議承認
- 内閣の一部改造

【外政】

- ボンゴ大統領とウェア・リベリア大統領の会談
- ロシア・アフリカサミットへのンゴゲ・ベカレ首相の参加

【経済】

- パノロ・エナジー（ノルウェー企業）社による石油区画の発見
- IMF代表団のガボン訪問
- ガボン政府と仏メリディウム社による水力発電所及び道路建設に関する契約の署名

【内政】

1 ガボン国民への個人識別番号の付与に関する閣議承認

2日に開催された閣議において、個人識別番号に関する法案が承認された。同閣議の最終コミュニケによると、個人識別番号はガボン国内のガボン人及び海外に在住のガボン人外交官が対象とのこと。（3日付UN）

2 内閣の一部改造

4日及び6日、ンゴゲ・ベカレ首相は内閣の一部を改造する大統領令を発表した。オトゥンガ・オッシバジョウ地方分権・統一・国土開発大臣やコホ女性開発促進・統合大臣（女性への暴力対策担当）兼政府報道官が新入閣を果たす一方、マタ地方分権・国土開発大臣及びエンガンジ・アランジ機材・インフラ・公共事業大臣が更迭された。（5日付UN等）

3 ジャン・ピン氏によるボンゴ大統領への新たな非難

12日、ジャン・ピン氏は、大統領の不在を訴えるとともに、大統領は国を統治することができない、アリアンガ大統領府官房長がボンゴ大統領の操り人形である等の発言を行い、ボンゴ大統領を非難した（12日付GMT等）

【外政】

1 ボンゴ大統領とウェア・リベリア大統領の会談

11日（金）にガボンに到着したウェア・リベリア大統領は、12日（土）にボンゴ大統領と大統領府において会談を行った。両大統領は同会談において、両国の協力関係を強化するという共通の意思を表明した。また、同会談では経済発展、治安及び平和といったテーマも取り上げられた。（12日付UN）

2 EU新大使、ガボンとの政策協議継続の意向を示す

8日、EU新大使は、ガボンとの政策協議継続の意向等に関するコミュニケを在ガボンEU代HPに掲載した。(10日GMT)

### 3 ロシア・アフリカサミットへのンゴゲ・ベカレ首相の参加

23日(水)と24日(木)にロシアのソチで開催されたロシア・アフリカサミットにンゴゲ・ベカレ首相がボンゴ大統領の代理として出席した。ンゴゲ・ベカレ首相は、経済フォーラムに加え、プーチン露大統領とエルシーシ・エジプト大統領からの招待を受け、ワーキングランチに出席した。(23日付UN等)

## 【経済】

### 1 2016年から2018年にかけて、石油生産量が16%減少

2016年には1,148.5万トンの石油生産量を記録したが、石油探掘が可能な地区の自然減、生産関連資材の不具合、OPECによる生産量(9千バレル/1日)の維持等により、2018年には9,646万トン(約7,100万バレル)に減少した。(1日付GMT)

### 2 ガボン、対中国木材輸出国第2位に

2019年上半年期、ガボンは中国にとっての木材輸入元世界第2位、中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC)加盟国内で第1位となった。本年6月末の木材の対中国輸出量は26.4万立方メートルに達し、同輸出から1.29億ドルの収益を上げた。(8日付LLV)

### 3 パノロ・エナジー(ノルウェー企業)社による石油区画の発見

4日、パノロ・エナジー社は、推計400億から500億バレルとみられるガンバ沖に位置する石油区画を発見したと発表した。(8日付UN)

### 4 2019年上半年期における石油生産量及び輸出額の増加

2019年6月末時点で、石油生産量は前年同時期比17.4%増、石油輸出量も21.7%増を記録した。依然としてアジアが主要石油輸出先となっている。(8日付UN)

### 5 2015年から2018年にかけてのンコク経済特区進出企業による投資額

2015年から2018年にかけて、ンコク経済特区に進出した企業による投資額が3,480億セーファを記録した。(2日付LLV)

### 6 IMF代表団のガボン訪問

2日、信用拡大メカニズムの第4回・第5回レビューの一環でガボンを訪問中のIMF代表団は、ボンゴ大統領と会談を行った。IMF代表団長は、経済を安定するためのガボンによる諸改革に満足を示した。また、ミッション後、IMFは経済・財政政策に関するガボン政府関係者との協議において、大きな前進が見られたとの考えを示した。(2日付LLV及び15日付UN)

### 7 2019年上半年期におけるマンガン生産量は約3百万トン

2019年上半年期におけるマンガン生産量は、好調な業績を反映し、前年同時期比26.1%増の約3百万トンを記録した。(9日付UN)

## 8 2020年政府予算(案)の閣議承認

15日に開かれた閣議において、2020年政府予算(案)が承認された。予算総額は、3兆3,331億CFAフラン(前年比2,974億CFAフラン増)、予算収入は2兆1,624億CFAフラン(前年比490億CFAフラン増)、予算支出は3兆3,308億CFAフランであった。(16日付UN)

## 9 ガボン政府と仏メリディウム社による水力発電所及び道路建設に関する契約の署名

24日(木)、フランスの資産運用会社であるメリディウム(Meridiam)社とガボン政府は、水力発電所及びガボンを横断する道路建設に関する契約に署名した。メリディウム社のコミュニケによると、水力発電所プロジェクトは、総工費1.5億ユーロでメリディウム社がプロジェクトの60%を管理する由。水力発電所の建設は、来年第2四半期以降に予定され、2023年末に稼働予定。同発電所は首都リーブルビルの上流100キロの位置に建設され、リーブルビルが消費する電力の13%を供給する。一方、鉱物資源の豊富な南東地域から首都リーブルビルを結ぶ780キロに及ぶ道路建設プロジェクトの総工費は明らかにされていないが、情報筋によると1億ユーロ以上に及ぶ由。(25日付UN)

## 10 ンブンバ鉱物・石油・炭化水素・ガス大臣とGazprom社及びZarubezhNefit社(いずれも露企業)関係者との協議

23日及び24日に行われたロシア・アフリカサミットのマージンで、ンブンバ鉱物・石油・炭化水素・ガス大臣は、Gazprom社代表及びZarubezhNefit社代表とそれぞれ会談を行った。(25日付GR)

## 11 アフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)の第二副議長にガボンが選出

25日、AfCFTA閣議において、ガボンがAfCFTAの第二副議長に選出された。(30日付UN)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリーブル電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP紙),EN(エコー・ノール紙),GMT(ガボンメディアタイム),GI(ガボンインフォズ),LLV(ラ・リーブルビル電子版ニュース)